

苫前町防災マップ



いざという時、もしもの災害に備えて

苫前町

平成30年3月発行

特別警報をご存知ですか？

特別警報は、大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする新しい警報です。普段からの備えと早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

特別警報の発表基準

現象の種類	基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

表中の「数十年に一度」の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

大津波警報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基準
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合（大津波警報を特別警報に位置づける）
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合（噴火警報（噴火警戒レベル4以上）及び噴火警報（居住地域）を特別警報に位置づける）
地震（地震動）	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合（緊急地震速報（震度6弱以上）を特別警報に位置づける）

特別警報が発表されたら

- ・尋常でない大雨や津波等が予想されています。
- ・重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ・ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

命を守るために情報の収集に努めてください

特別警報は、自治体や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネット、自治体から発信される情報の収集に努めてください。



- ・「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。
- ・これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。
- ・普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

※気象庁HPより一部を抜粋して掲載

気象庁

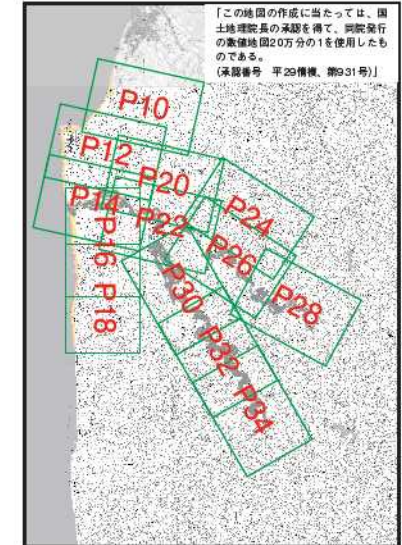
〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4
 電話：03-3212-8341 FAX：03-6689-2917（耳の不自由な方向け）
 気象庁ホームページ
<http://www.jma.go.jp>
 特別警報について
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keiho/>

「特別警報」については、気象庁HPに詳細が掲載されていますので、ご確認ください。

目次

特別警報をご存知ですか？	表紙裏
目次・防災マップ索引図	P1
津波対策	P2
風水害対策	P3
洪水ハザード情報について	P4
災害の種類	P5
浸水想定区域図	
北部	P6・7
南部	P8・9
ハザードマップ	
豊浦・興津・昭和地区	P10・11
苫前・栄浜・港・三豊・旭地区	P12・13
香川地区	P14・15
上平地区	P16・17
力量地区	P18・19
長島地区①	P20・21
古丹別地区・長島地区②	P22・23
小川地区	P24・25
岩見地区	P26・27
東川地区	P28・29
九重地区①	P30・31
九重地区②	P32・33
三溪地区	P34・35
非常時持出品の準備&チェック	P36
避難所一覧	P37
わが家の「防災・緊急情報」メモ	裏表紙

防災マップ索引図



● お問い合わせ先 ●

苫前町役場

総務財政課交通防災係

TEL：0164-64-2211

FAX：0164-64-2142

E mail：bosai@town.tomamae.lg.jp

津波対策

津波から命を守るためには、「強い揺れ、弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じたら」…すぐに避難!!「揺れが無くても津波警報を見聞きしたら」…すぐに避難!!



津波警報・注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。その後「予想される津波の高さ」、「津波の到達予想時刻」等の情報を発表します。

マグニチュード8を超えるような巨大地震の場合

「巨大」という言葉を使った大津波警報で、非常事態であることを伝えます

●巨大地震の場合は、正しい地震の規模をすぐには把握できないため、その海域における最大級の津波を想定して、大津波警報や津波警報を発表します。これにより、津波の高さを小さく予想することを防ぎます。

●このとき、最初の津波警報では、予想される津波の高さを、「巨大」、「高い」という言葉で発表して非常事態であることを伝えます。



「巨大」という言葉を見たり聞いたりしたら、東日本大震災クラスの津波が来ると思って、ただちにより高い場所に避難しましょう!

正確な地震の規模が分かった場合

予想される津波の高さを、1m、3m、5m、10m、10m超の5段階で発表します



「津波の高さ」は津波がない場合の海面からの高さです。津波が陸上で崖などを駆け上った高さは、津波の高さの何倍にも達することがあります。

津波に関する情報

津波警報の発表後、沖合や沿岸の観測点で観測した津波の高さや到達時刻を発表します。

●高い津波が来る前は、津波の高さを「観測中」として発表します。

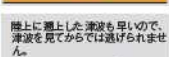
●沖合で観測された津波の情報をいち早く伝えます。

津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の場合の表現		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	水道事業が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう!	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m (20cm<高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上って、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。	海の中では人は強い流れに巻き込まれる。養殖しやがが流失し小型船舶が転覆する。

※津波警報等の発表時には、各区分の**高い方の値**を、予想される津波の高さとして発表します。

(※気象庁ホームページより大部分を抜粋)



風水害対策

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。



まずは、確実な情報が大事。その次に迅速な対応

大雨情報をキャッチ! こんなときのわが家の安全対策。

強風注意報・暴風警報

強風注意報 (陸上):
平均風速が13m/sと予想される場合
暴風警報 (陸上):
平均風速が18m/sと予想される場合

大雨注意報

大雨による災害が発生するおそれがあると予想したとき。

大雨警報

大雨による重大な災害が発生するおそれがあると予想したとき。

上記に併せて、洪水注意報・洪水警報が発表されます。数十年に一度の災害が発生するおそれがあると予想される場合特別警報が発表されることがあります。

雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

10以上~20未満	20以上~30未満	30以上~50未満	50以上~80未満	80以上~
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づら。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

10以上~15未満	15以上~20未満	20以上~25未満	25以上~
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

台風

- 日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。
- 台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速 15m/s以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/s以上44m/s未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/s以上54m/s未満
		猛烈な強さ	54m/s以上

集中豪雨

- 集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。
- 発生の予測は非常に困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるような準備をする。

つねに気象情報には、注意しておきましょう!



洪水ハザード情報について

水防法に基づき、洪水ハザード情報をマップに掲載しています。
以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

1 説明

- この「苦前町防災マップ」で使用している浸水情報は、水防法の規定により指定された浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。
- 雨の降り方によっては、想定とは異なる浸水深となったり、地図に表示された浸水区域以外でも浸水することがあります。
- 川が氾濫しない場合でも、低い土地などは浸水被害(床上・床下浸水など)が起こる場合があります。十分注意しましょう。
- 浸水ランクの目安

5.0m以上の区域	2階の屋根以上が浸水する程度
3.0～5.0m未滿の区域	2階の軒下まで浸水する程度
0.5～3.0m未滿の区域	1階の全てが浸水する程度
0～0.5m未滿の区域	大人の膝までつかる程度



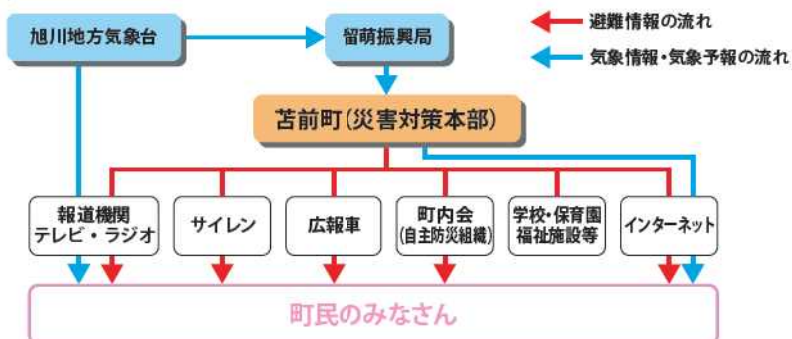
2 洪水情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

- 洪水注意報(気象庁)**
洪水によって災害が発生するおそれがある場合、その旨を注意して行う。
- 洪水警報(気象庁)**
洪水によって重大な災害が発生するおそれがある場合、その旨を警告して行う。
- 指定河川洪水予報など**
旭川地方気象台の予測する降水量をもとに、河川を管理する北海道が河川水位の危険度を予測し共同発表します。

3 情報の伝達ルート

災害に関する情報は、下図の経路で町民のみなさんに伝達されます。これらに注意し、すみやかに避難できるように心がけましょう。



災害の種類

大雨などにより、川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりえる災害に対応しましょう。

川の氾濫

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まっておきる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。



外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起こると一気に水かさが増すので、最大の注意が必要。



土砂災害

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、役場などの関係機関に連絡してください。日ごろから危険箇所や避難場所・避難経路を確認しておくことも重要です。

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や田畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土壌量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



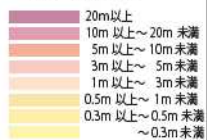
※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

浸水想定区域図 北部

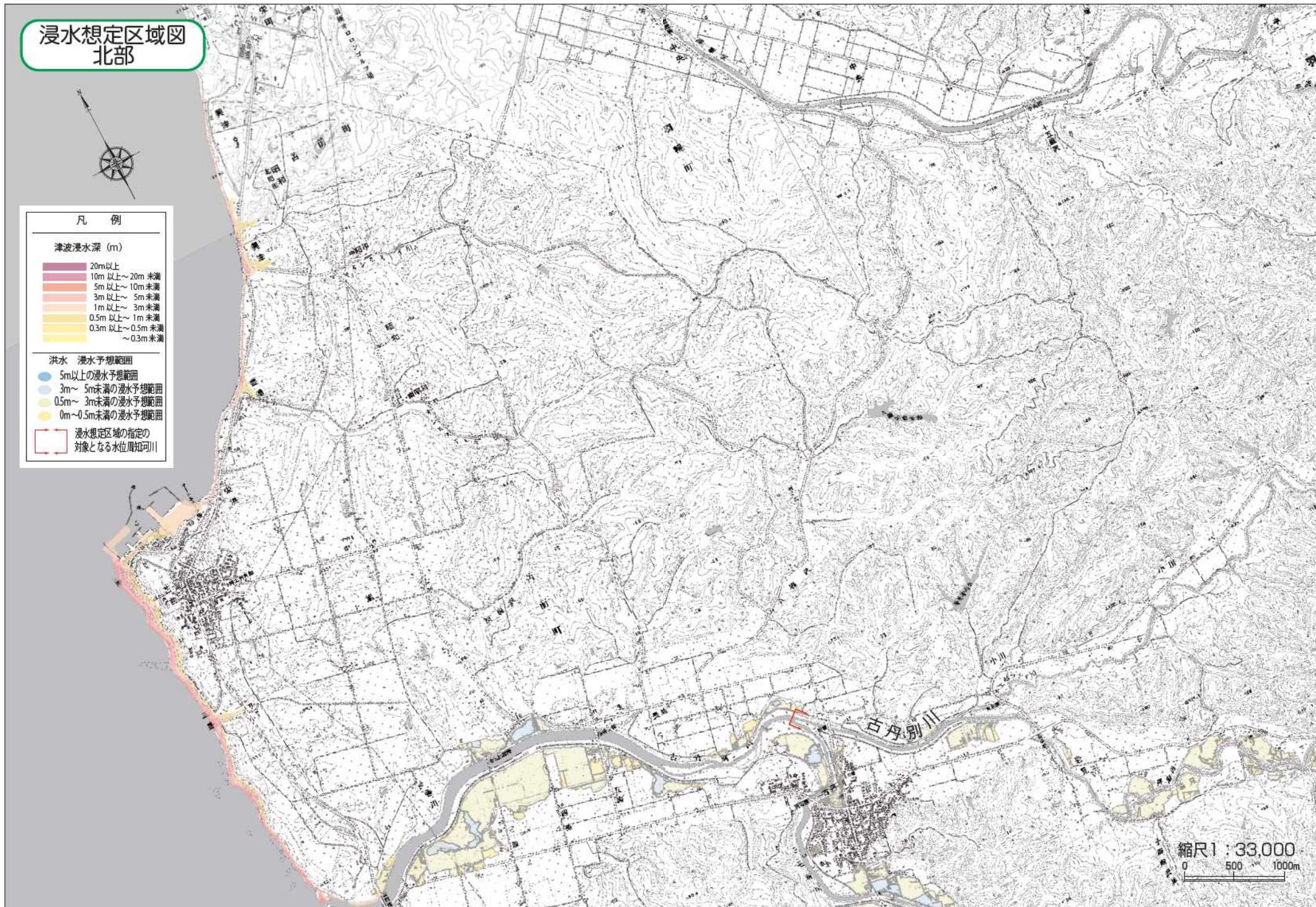


凡例

津波浸水深 (m)

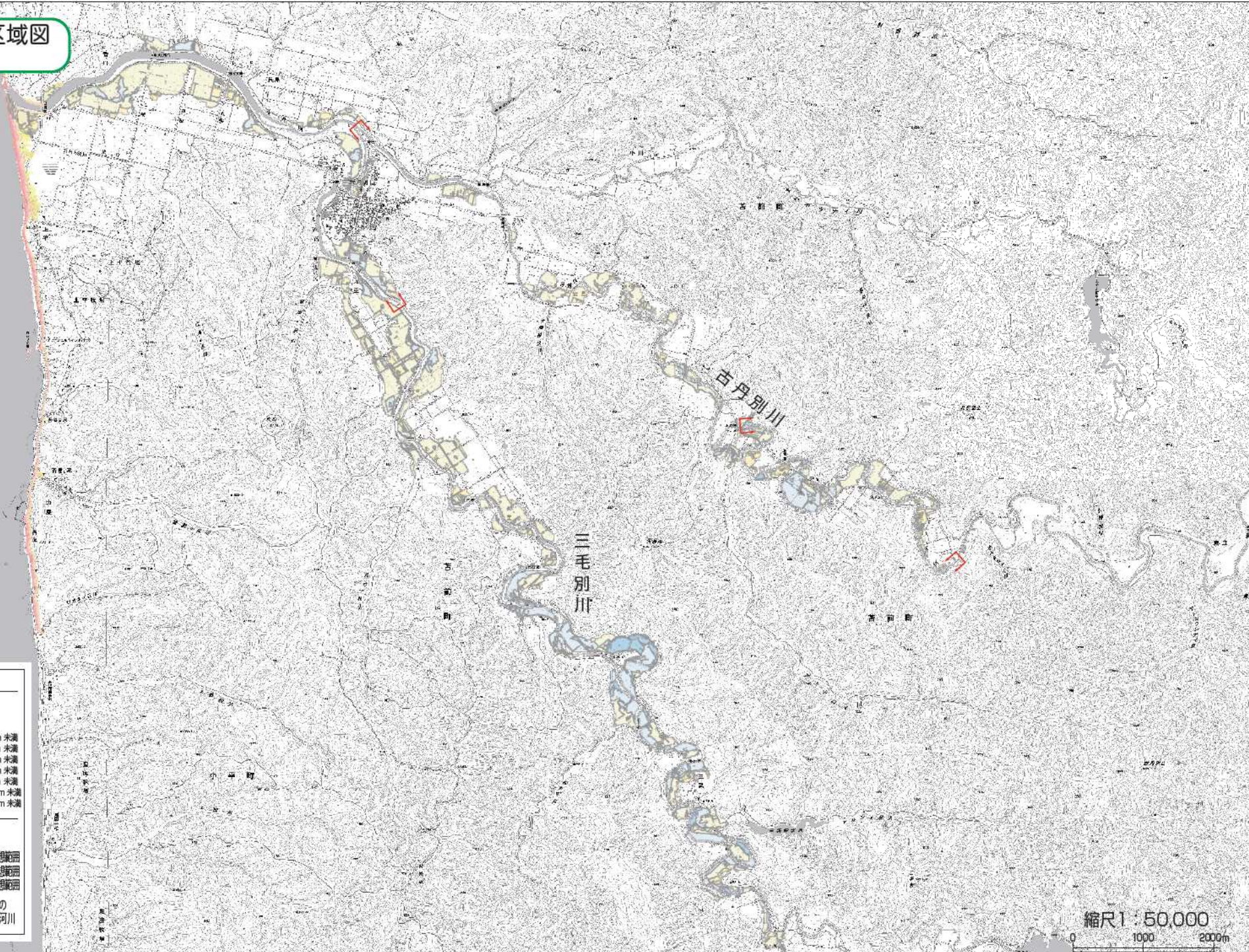


洪水 浸水予想範囲



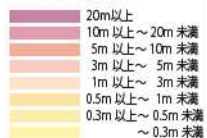
【この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平29情復、第931号)】

浸水想定区域図 南部

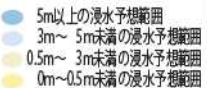


凡例

津波浸水深 (m)

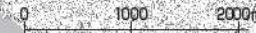


洪水 浸水予想範囲



浸水想定区域の指定の
対象となる水位周知河川

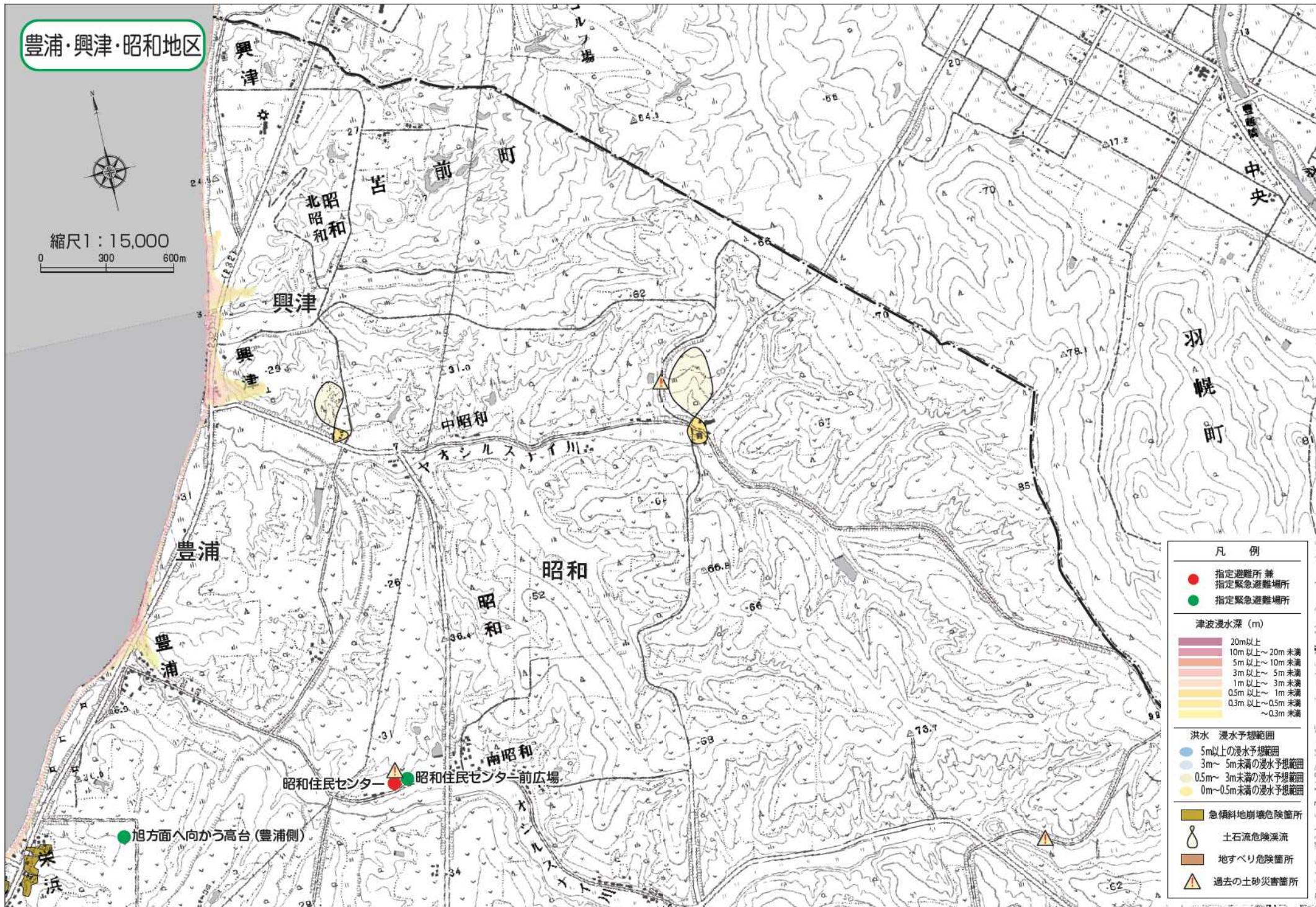
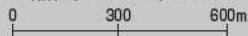
縮尺 1 : 50,000



豊浦・興津・昭和地区

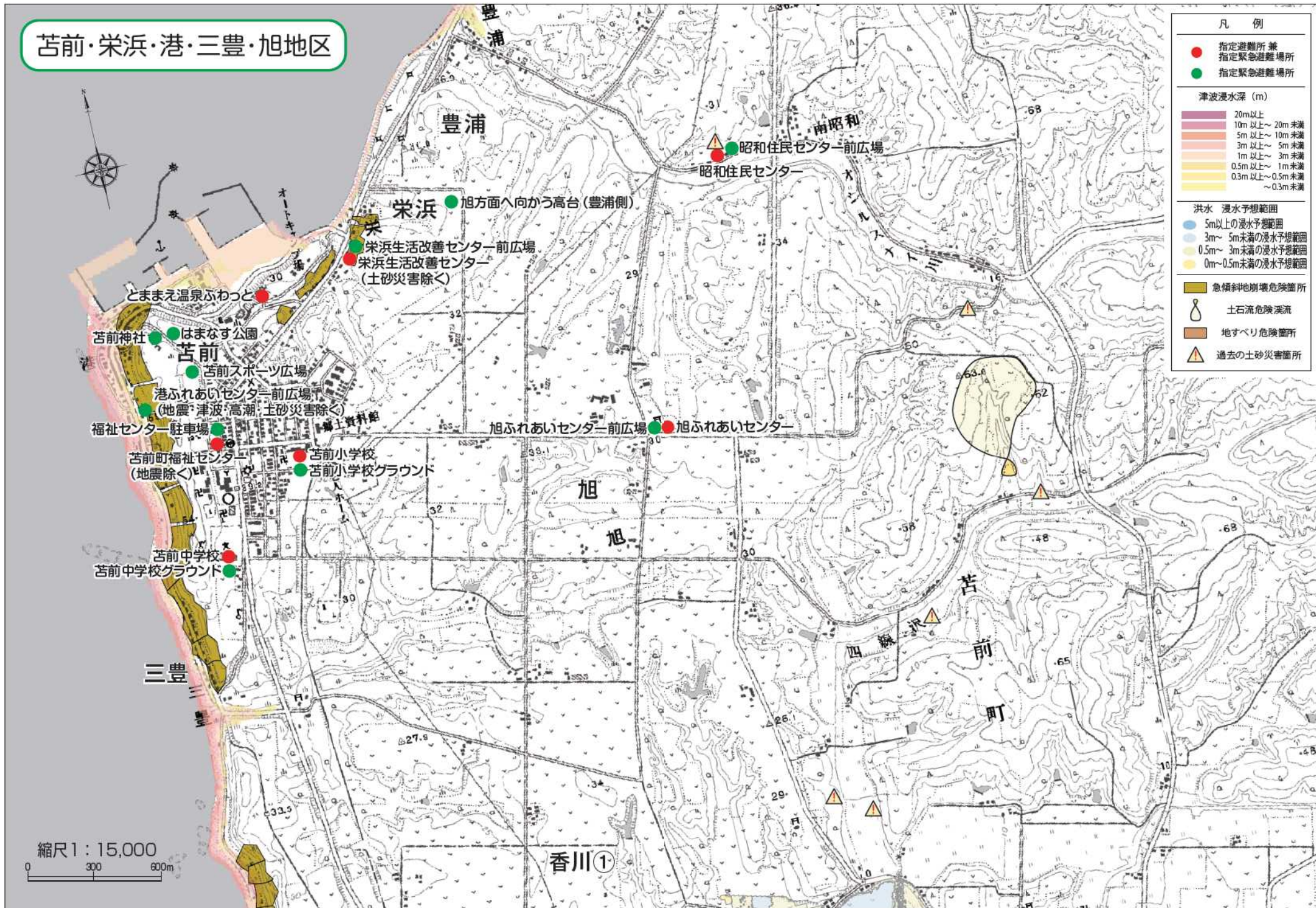


縮尺1:15,000

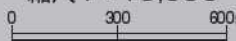


凡例	
● (Red)	指定避難所兼 指定緊急避難場所
● (Green)	指定緊急避難場所
津波浸水深 (m)	
■ (Pink)	20m以上
■ (Orange)	10m以上～20m未満
■ (Light Orange)	5m以上～10m未満
■ (Yellow-Orange)	3m以上～5m未満
■ (Yellow)	1m以上～3m未満
■ (Light Yellow)	0.5m以上～1m未満
■ (Pale Yellow)	0.3m以上～0.5m未満
■ (Very Pale Yellow)	～0.3m未満
洪水 浸水予想範囲	
● (Light Blue)	5m以上の浸水予想範囲
● (Medium Blue)	3m～5m未満の浸水予想範囲
● (Yellow)	0.5m～3m未満の浸水予想範囲
● (Pale Yellow)	0m～0.5m未満の浸水予想範囲
■ (Yellow)	急傾斜地崩壊危険箇所
△ (Yellow)	土石流危険渓流
■ (Brown)	地すべり危険箇所
△ (Brown)	過去の土砂災害箇所

苫前・栄浜・港・三豊・旭地区

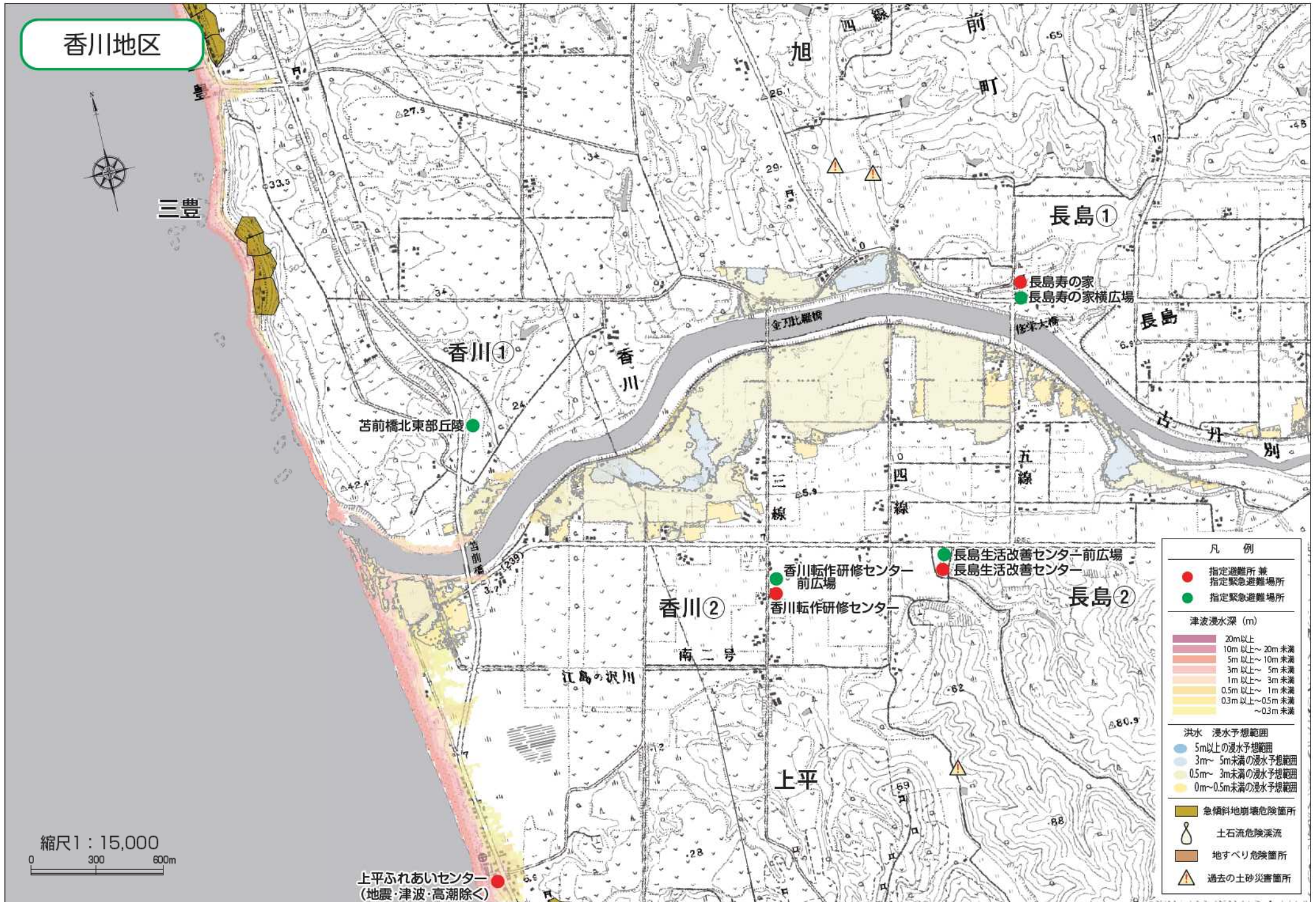


縮尺1:15,000



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平29情復、第931号)」

香川地区



縮尺 1 : 15,000
0 300 600m

上平ふれあいセンター
(地震・津波・高潮除く)

凡例	
● (Red)	指定避難所兼指定緊急避難場所
● (Green)	指定緊急避難場所
津波浸水深 (m)	
■ (Dark Purple)	20m以上
■ (Purple)	10m以上～20m未満
■ (Red-Orange)	5m以上～10m未満
■ (Orange)	3m以上～5m未満
■ (Light Orange)	1m以上～3m未満
■ (Yellow-Orange)	0.5m以上～1m未満
■ (Yellow)	0.3m以上～0.5m未満
■ (Light Yellow)	～0.3m未満
洪水 浸水予想範囲	
■ (Blue)	5m以上の浸水予想範囲
■ (Light Blue)	3m～5m未満の浸水予想範囲
■ (Yellow)	0.5m～3m未満の浸水予想範囲
■ (Light Yellow)	0m～0.5m未満の浸水予想範囲
■ (Brown)	急傾斜地崩壊危険箇所
○ (Brown)	土石流危険渓流
■ (Brown)	地すべり危険箇所
▲ (Yellow)	過去の土砂災害箇所



上平地区

長島①

長島寿の家
長島寿の家横広場

長島②

長島生活改善センター前広場
長島生活改善センター

香川転作研修センター前広場
香川転作研修センター

香川②

香川①

苫前橋北東部丘陵

上平神社裏山

上平ふれあいセンター
(地震・津波・高潮除く)

上平共同利用模範牧場

グリーンヒルウインドパーク周辺

凡例

- 指定避難所兼指定緊急避難場所 (Red dot)
- 指定緊急避難場所 (Green dot)

津波浸水深 (m)

- 20m以上 (Dark red)
- 10m以上～20m未満 (Red)
- 5m以上～10m未満 (Light red)
- 3m以上～5m未満 (Orange)
- 1m以上～3m未満 (Light orange)
- 0.5m以上～1m未満 (Yellow-orange)
- 0.3m以上～0.5m未満 (Yellow)
- ～0.3m未満 (Light yellow)

洪水 浸水予想範囲

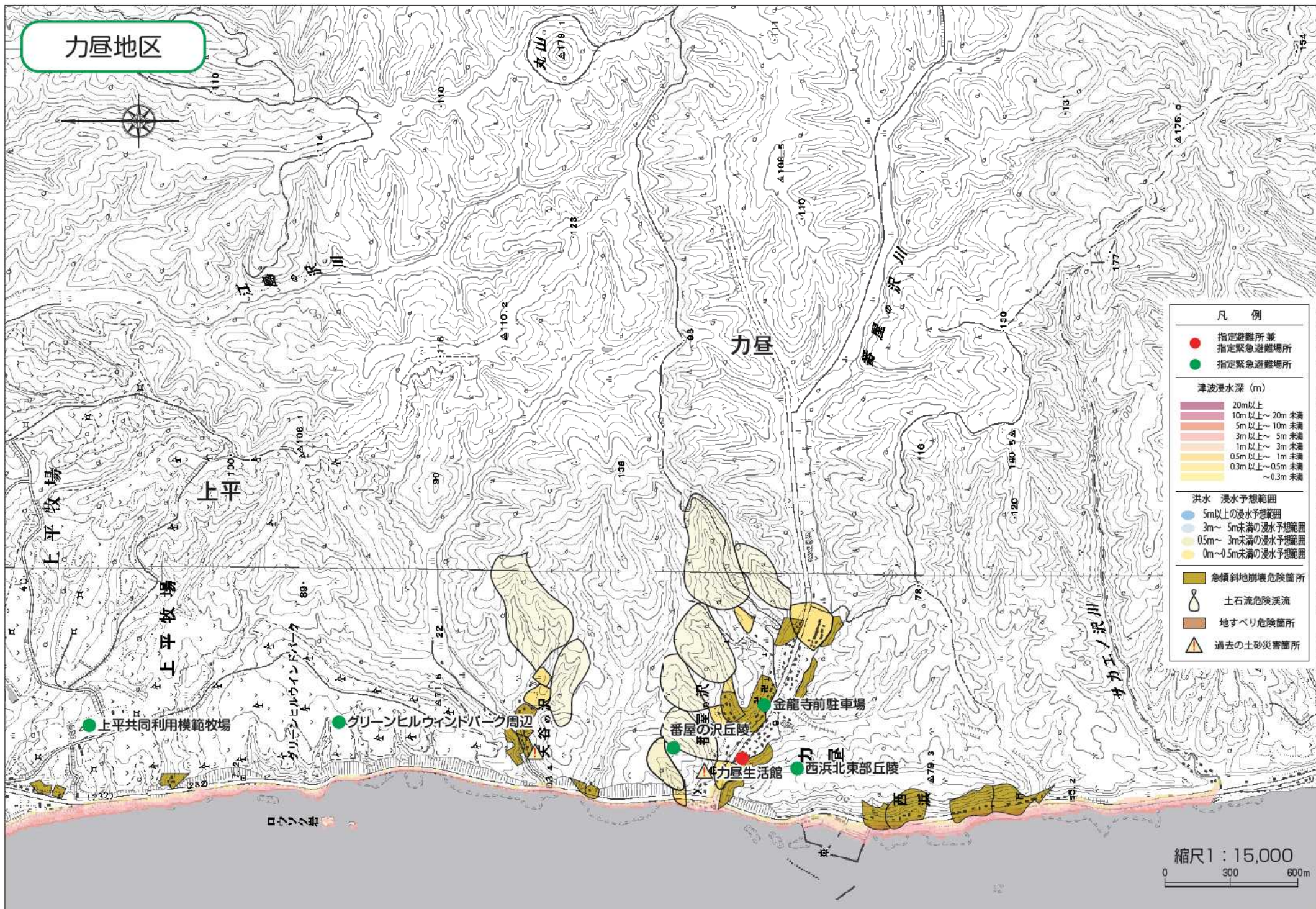
- 5m以上の浸水予想範囲 (Dark blue)
- 3m～5m未満の浸水予想範囲 (Medium blue)
- 0.5m～3m未満の浸水予想範囲 (Light blue)
- 0m～0.5m未満の浸水予想範囲 (Very light blue)

- 急傾斜地崩壊危険箇所 (Yellow rectangle)
- 土石流危険渓流 (Blue line)
- 地すべり危険箇所 (Orange rectangle)
- 過去の土砂災害箇所 (Yellow triangle)

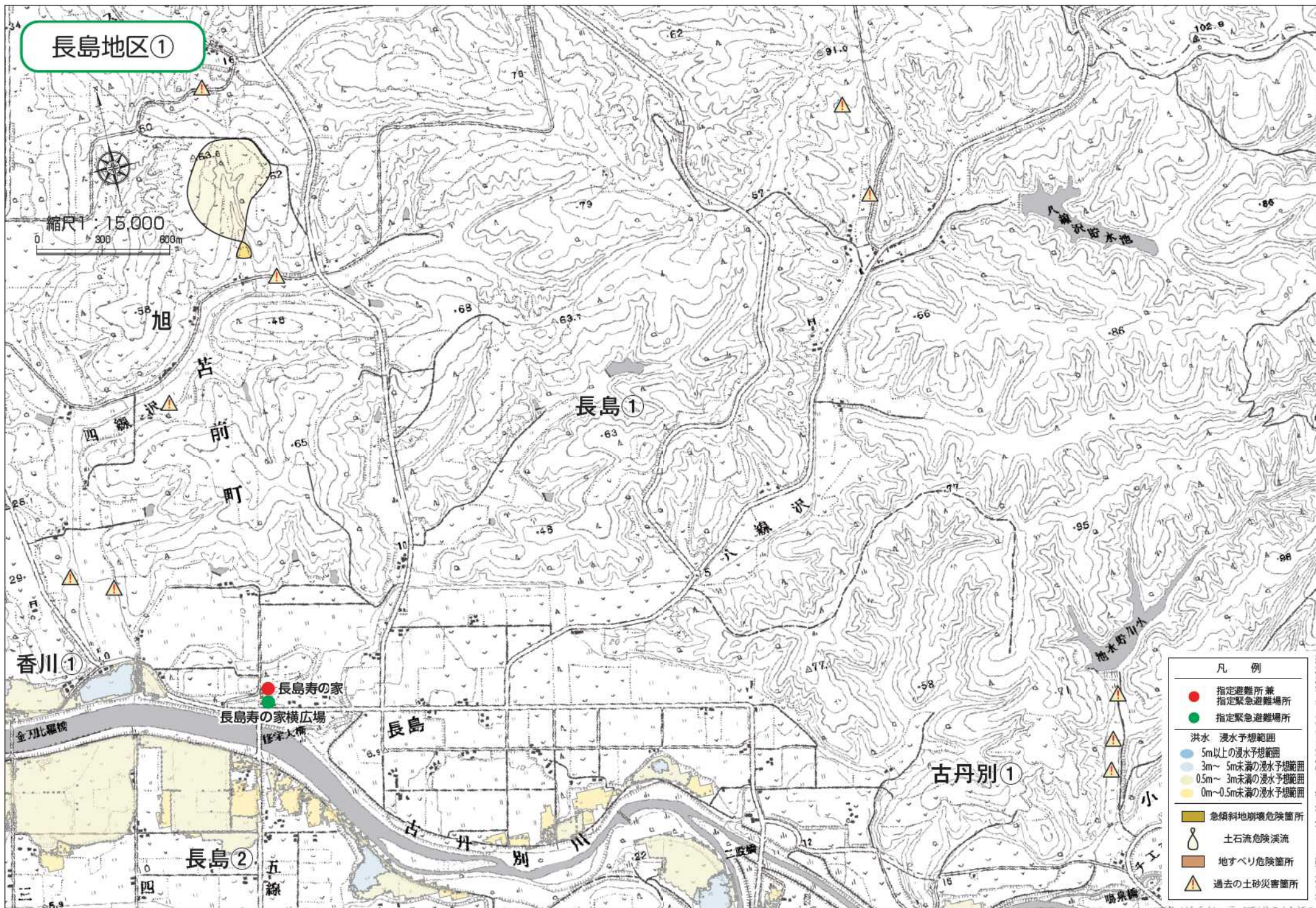
縮尺1:15,000
0 300 600m

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平29情複、第931号)」

力昼地区



縮尺 1 : 15,000
0 300 600m



長島地区①

縮尺 1:15,000

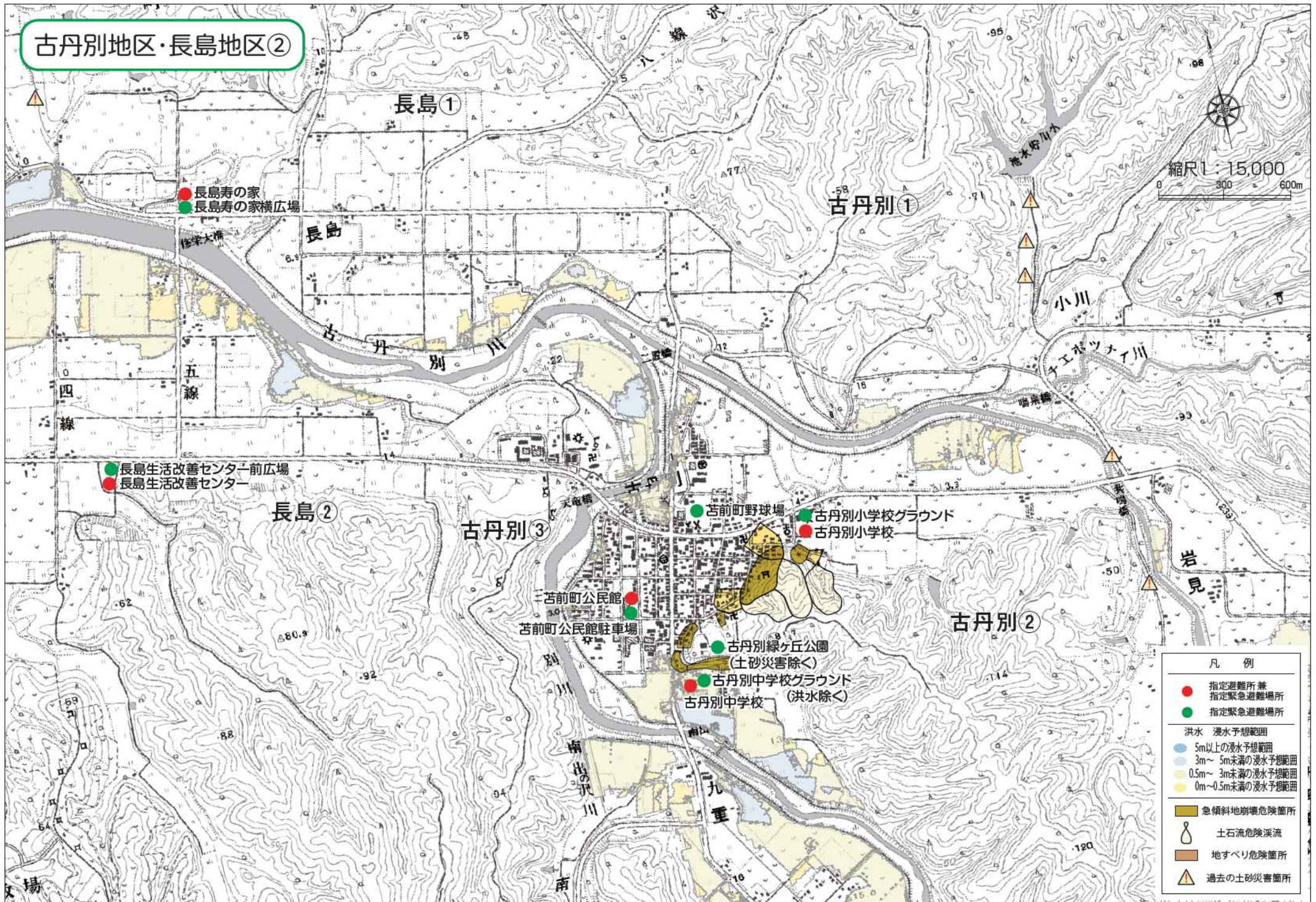
長島①

古丹別①

凡例

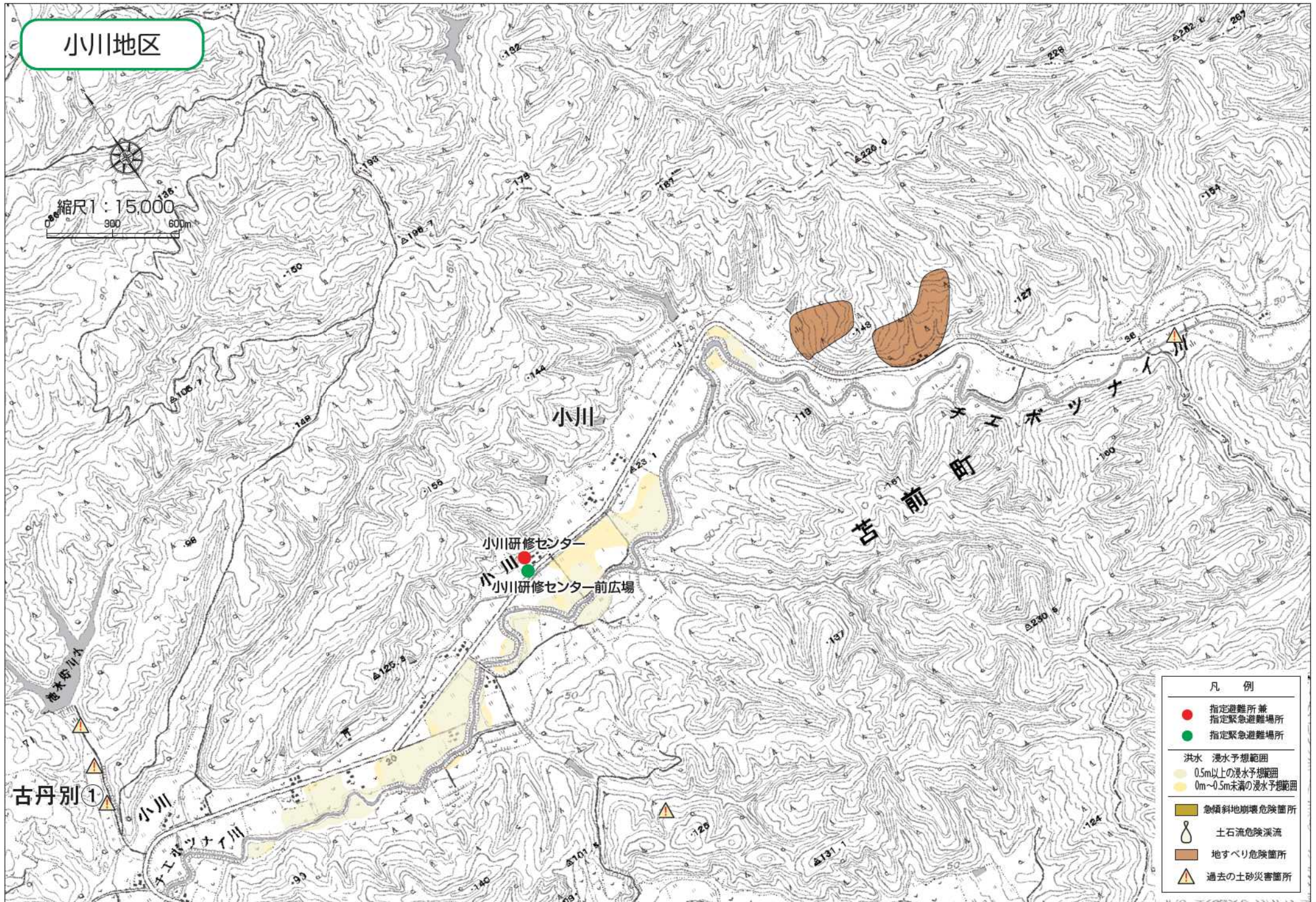
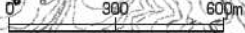
- 指定避難所兼指定緊急避難場所
- 指定緊急避難場所
- 洪水 浸水予想範囲
- 5m以上の浸水予想範囲
- 3m～5m未満の浸水予想範囲
- 0.5m～3m未満の浸水予想範囲
- 0m～0.5m未満の浸水予想範囲
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 土石流危険渓流
- 地すべり危険箇所
- 過去の土砂災害箇所

古丹別地区・長島地区②



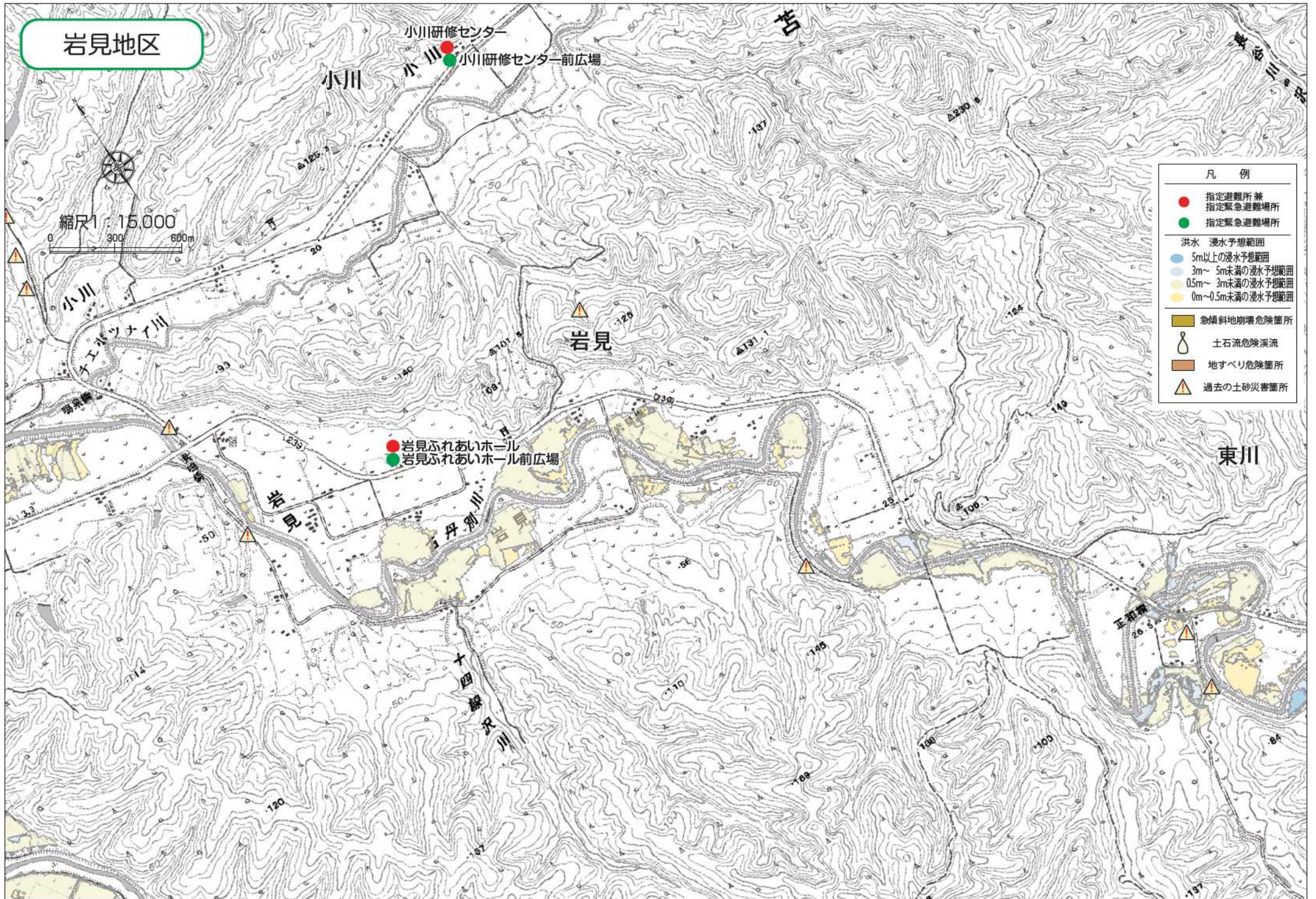
小川地区

縮尺1:15,000

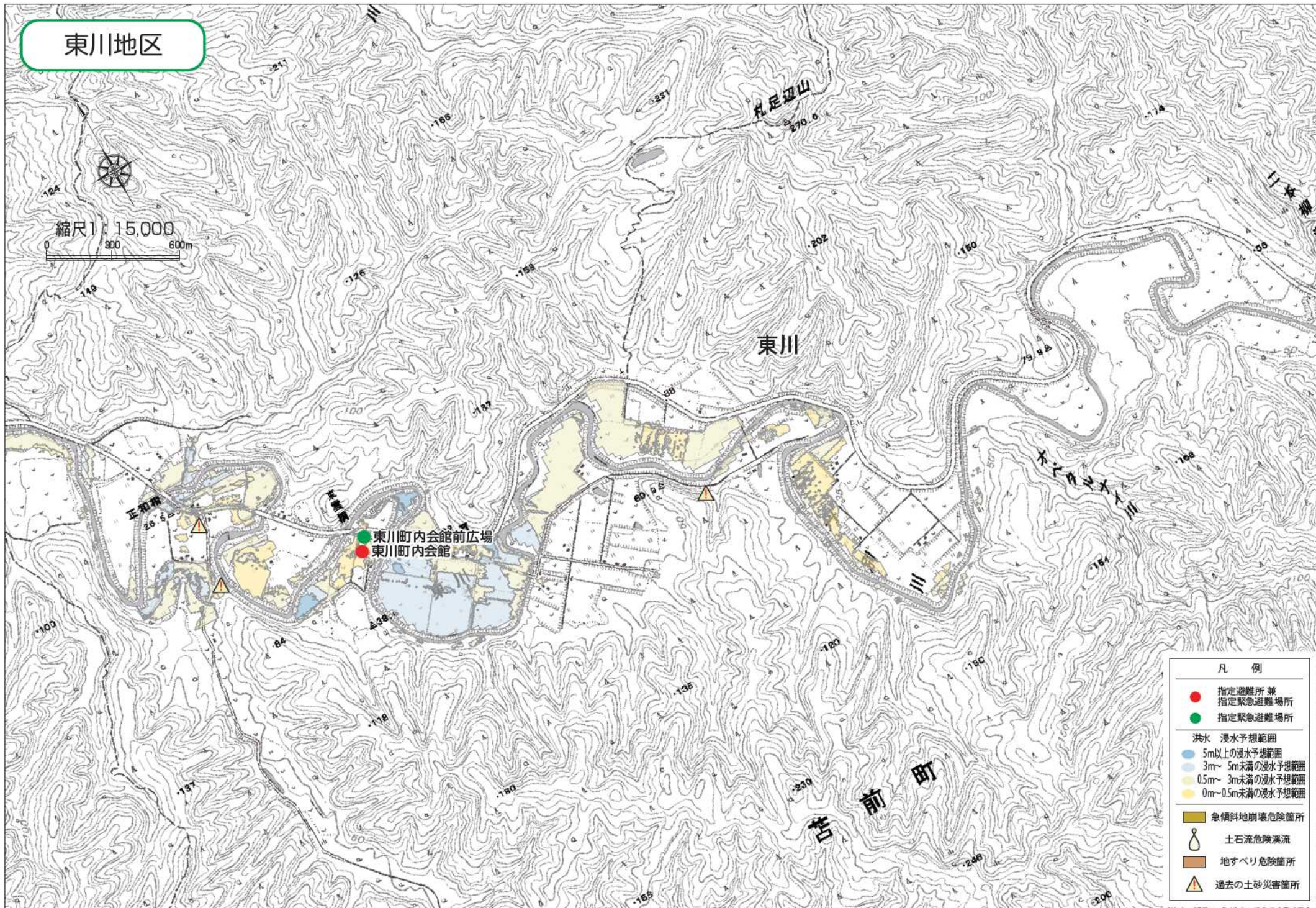


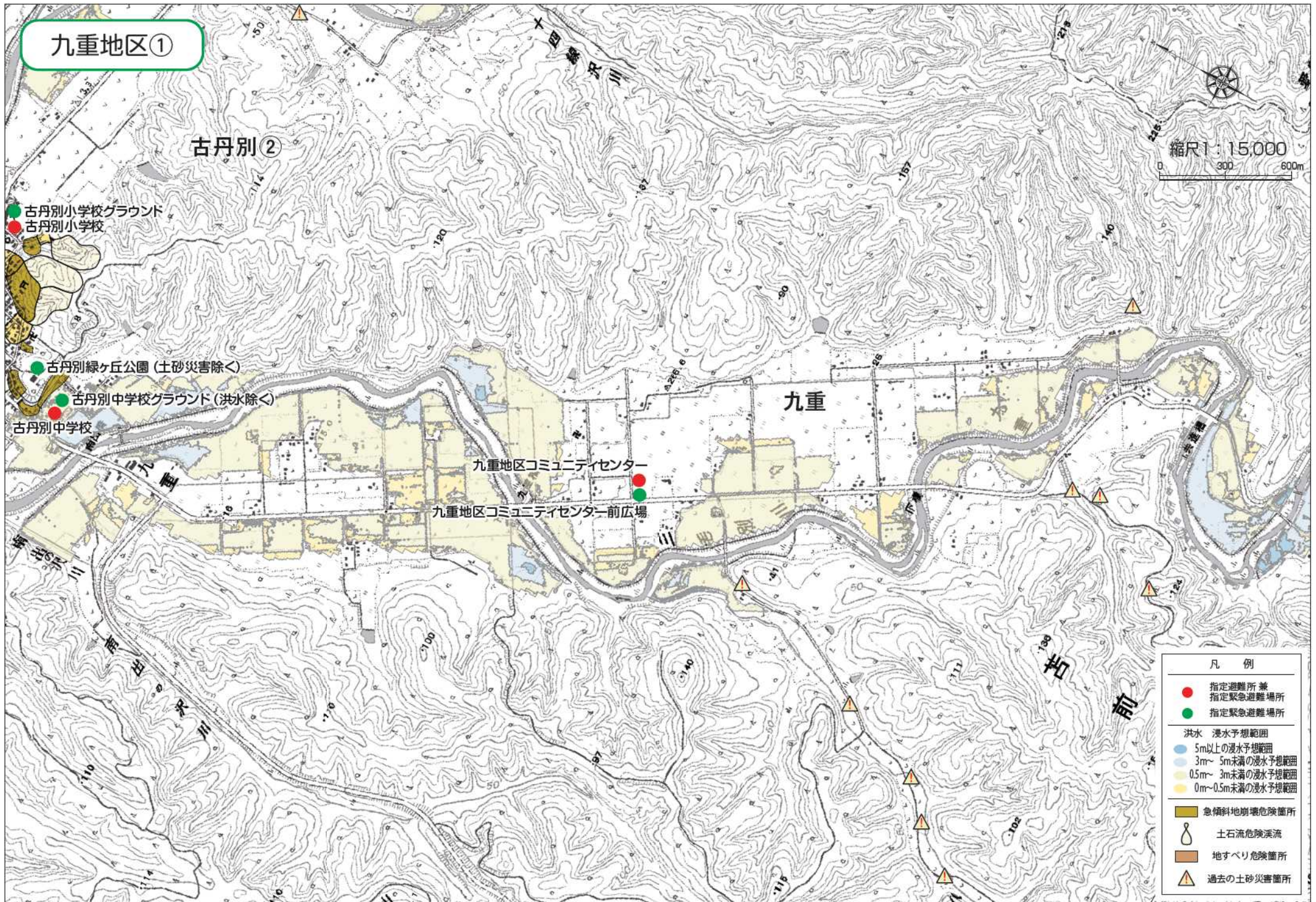
凡 例	
● (Red)	指定避難所兼 指定緊急避難場所
● (Green)	指定緊急避難場所
洪水 浸水予想範囲	
● (Light Yellow)	0.5m以上の浸水予想範囲
● (Orange)	0m~0.5m未満の浸水予想範囲
■ (Brown)	急傾斜地崩壊危険箇所
⦿ (Circle with dot)	土石流危険渓流
■ (Dark Brown)	地すべり危険箇所
⚠ (Triangle with exclamation mark)	過去の土砂災害箇所

岩見地区

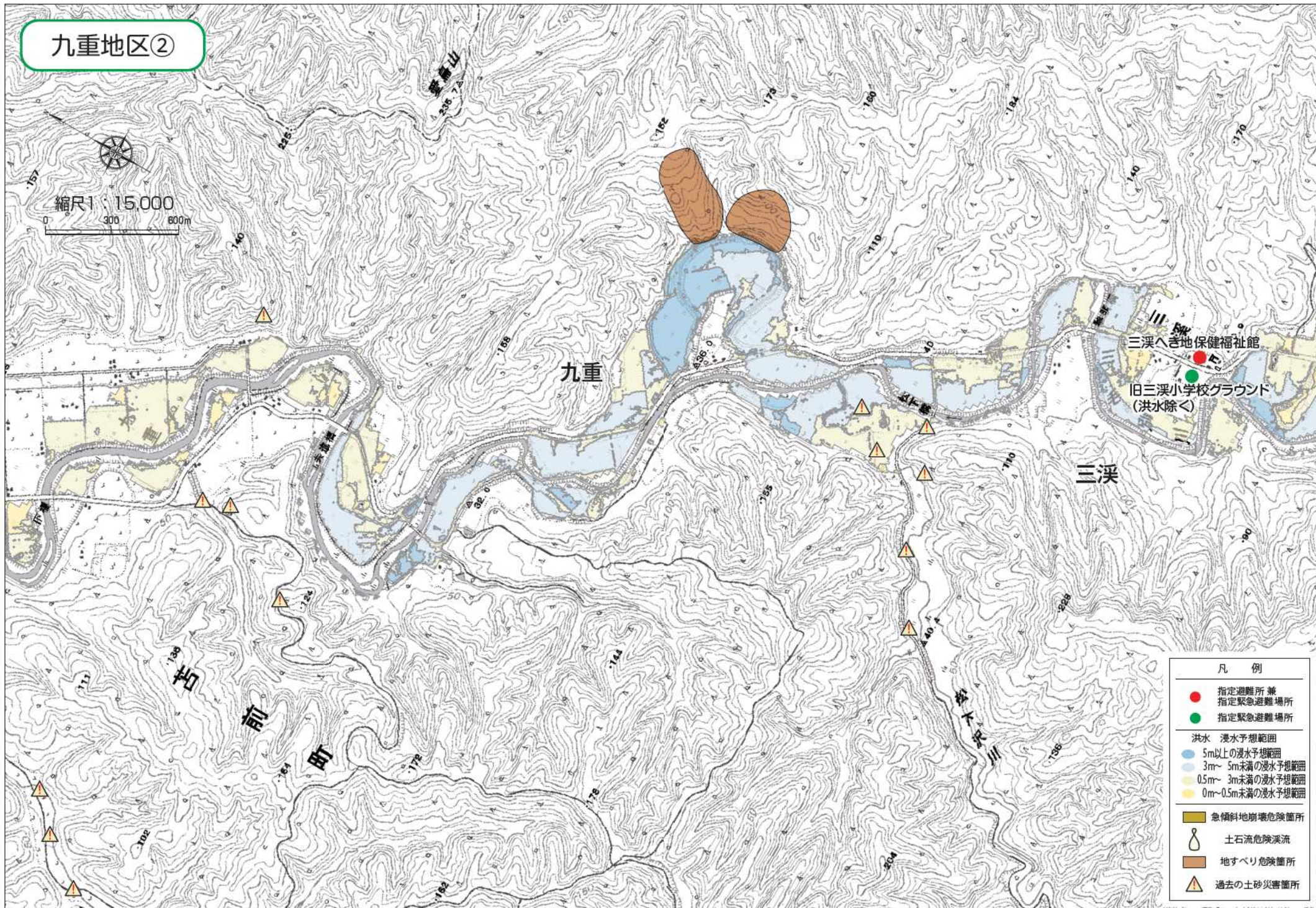


東川地区





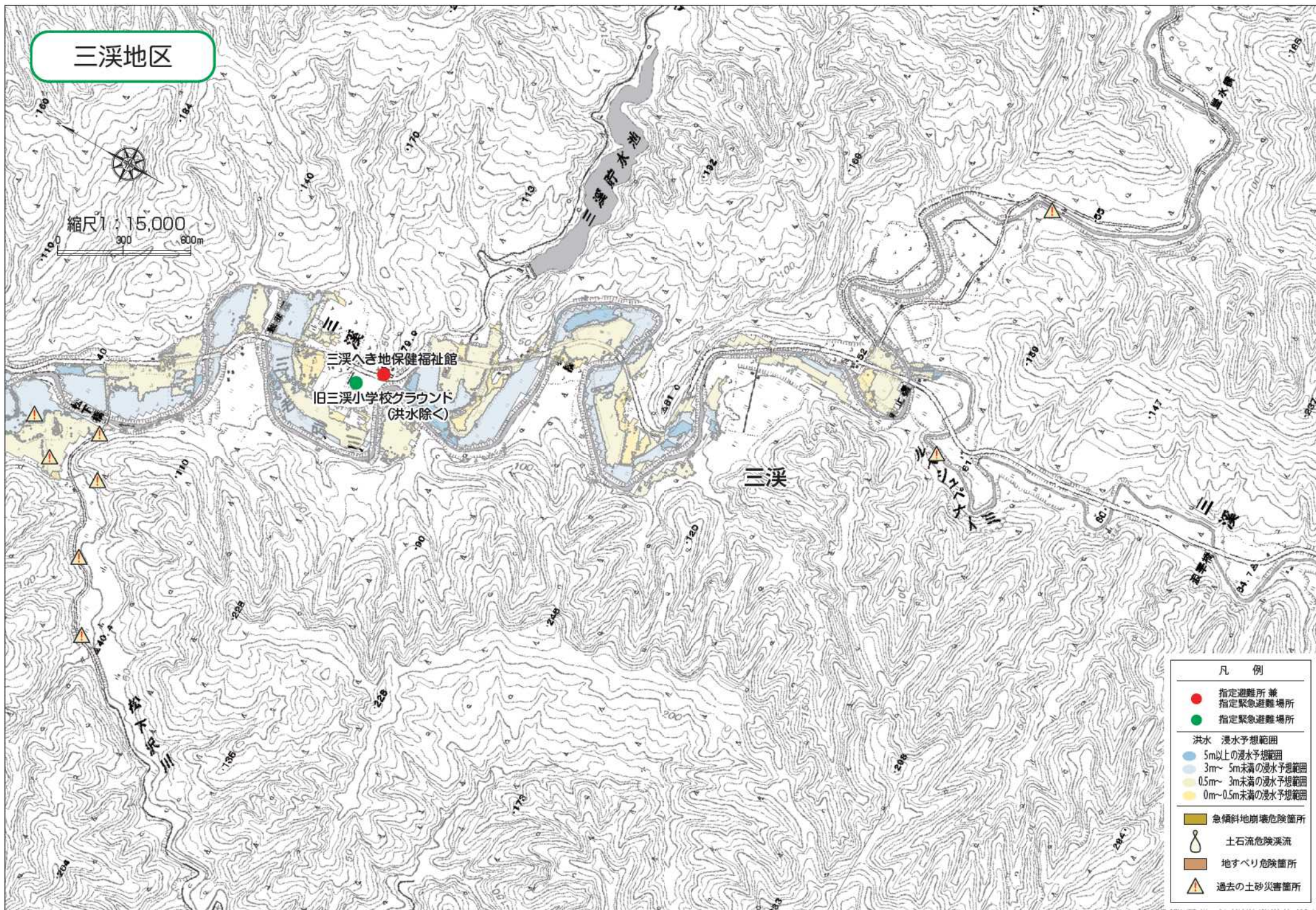
九重地区②



三溪地区

縮尺 1:15,000

0 300 600m



凡例	
● (Red)	指定避難所兼 指定緊急避難場所
● (Green)	指定緊急避難場所
洪水 浸水予想範囲	
● (Dark Blue)	5m以上の浸水予想範囲
● (Light Blue)	3m～5m未満の浸水予想範囲
● (Yellow)	0.5m～3m未満の浸水予想範囲
● (Light Yellow)	0m～0.5m未満の浸水予想範囲
■ (Brown)	急傾斜地崩壊危険箇所
⦿ (Circle with dot)	土石流危険渓流
■ (Orange)	地すべり危険箇所
▲ (Triangle)	過去の土砂災害箇所

非常時持出品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

非常時持出品(例)

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

携帯ラジオ



- ラジオ
- 電池(多めに用意)

救急医療品



- 持病薬
- 絆創膏
- 傷薬
- 包帯
- 風邪薬
- 胃腸薬
- 鎮痛剤

貴重品



- 現金
- 預金通帳
- 印鑑
- 免許証
- 健康保険証
- 権利証書

懐中電灯



- 懐中電灯(出来れば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)

非常食品



火を通さず食べられるもの、食器など

- カンパン
- 缶詰
- 非常用食品
- ミネラルウォーター
- 缶切り
- 栓抜き
- 紙皿
- 紙コップ
- 水筒

その他



- 衣類(下着・上着など)
- タオル
- 生理用品
- 粉ミルク
- 離乳食
- 紙おむつ
- ウェットティッシュ
- 雨具
- ヘルメット
- ライター
- ラップフィルム
- 防災マップ(本書)
- (止血や食器にかぶせて使う)
- 防寒具(時季による)

非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるようにチェック☑しましょう。

飲料水



- 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
- 貯水したポリタンクなど

非常食品



- お米(アルファ米も便利)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

燃料



- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料

その他



- 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品など

非常時持出品は定期的に点検を!

避難生活が長引くときに便利なもの

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さし、筆記用具(マジックなど)、スコップなど。



阪神・淡路大震災で役に立ったもの

ポリタンク、ホイッスル、予備の眼鏡・補聴器、ビニールシート、新聞紙、補助用具としてロープ、スコップ、バールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど。

非常時持出品は、使用するときに支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の賞味期限は早めにチェックし、賞味期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。

避難所一覧

指定避難所 兼 指定緊急避難場所は地図内に●で表示、指定緊急避難場所は●で表示しております。

No.	指定避難所	指定緊急避難場所	施設名	住所	管理担当連絡先	対象とする災害						想定収容人数	
						洪水	崖崩れ土石流地滑り	高潮	地震	津波	大規模な火事		内水氾濫
1	●	●	力屋生活館	力屋220-5	0164-66-1448	○	○	○	○	○	○	○	150人
2		●	金龍寺前駐車場	力屋609、250-1、250-3	0164-66-1313	○	○	○	○	○	○	○	900人
3		●	番屋の沢丘陵	力屋	0164-64-2211	○	○	○	○	○	○	○	100人
4		●	西浜北東部丘陵	力屋	0164-64-2211	○	○	○	○	○	○	○	100人
5		●	グリーンヒルウィンドパーク周辺	力屋	0164-64-2211	○	○	○	○	○	○	○	500人
6		●	上平共同利用機籠牧場	上平14-1	0164-64-2211	○	○	○	○	○	○	○	5,000人
7	●	●	上平ふれあいセンター	上平78-4	0164-66-1231	○	○	—	—	—	○	○	110人
8		●	上平神社裏山	上平	0164-64-2211	○	○	○	○	○	○	○	100人
9		●	港ふれあいセンター前広場	苫前34-1	0164-64-2449	○	—	—	—	—	○	○	260人
10		●	苫前神社	苫前177	0164-64-2431	○	—	○	○	○	○	○	250人
11		●	はまなす公園	苫前	0164-64-2211	○	○	○	○	○	○	○	3,000人
12		●	苫前スポーツ広場	苫前156	0164-64-4076	○	○	○	○	○	○	○	5,500人
13		●	福祉センター駐車場	苫前172	0164-64-2442	○	○	○	○	○	○	○	250人
14	●	●	苫前町福祉センター	苫前172	0164-64-2442	○	○	○	—	○	○	○	210人
15		●	苫前小学校グラウンド	苫前385-1	0164-64-2440	○	○	○	○	○	○	○	3,700人
16	●	●	苫前小学校	苫前385-1	0164-64-2440	○	○	○	○	○	○	○	220人
17		●	苫前中学校グラウンド	旭18-2	0164-64-2447	○	○	○	○	○	○	○	9,400人
18	●	●	苫前中学校	旭18-2	0164-64-2447	○	○	○	○	○	○	○	230人
19	●	●	とままえ温泉ふわっと	苫前119-1	0164-64-2810	○	○	○	○	○	○	○	440人
20		●	栄浜生活改善センター前広場	栄浜233	0164-64-2530	○	—	—	—	—	○	○	470人
21	●	●	栄浜生活改善センター	栄浜233	0164-64-2530	○	—	—	—	—	○	○	60人
22		●	旭方面へ向かう高台(豊浦側)	昭和	0164-64-2211	○	○	○	○	○	○	○	100人
23		●	昭和住民センター前広場	昭和95-13	0164-64-2878	○	○	○	○	○	○	○	150人
24	●	●	昭和住民センター	昭和95-13	0164-64-2878	○	○	○	○	○	○	○	20人
25		●	旭ふれあいセンター前広場	旭332-3	0164-64-2266	○	○	○	○	○	○	○	150人
26	●	●	旭ふれあいセンター	旭332-3	0164-64-2266	○	○	○	○	○	○	○	170人
27		●	苫前橋北東部丘陵	香川	0164-64-2211	○	○	○	○	○	○	○	100人
28		●	香川転作研修センター前広場	香川534-4	0164-66-1671	○	○	○	○	○	○	○	50人
29	●	●	香川転作研修センター	香川534-4	0164-66-1671	○	○	○	○	○	○	○	40人
30		●	長島寿の家横広場	長島179-17	0164-65-4165	○	○	○	○	○	○	○	120人
31	●	●	長島寿の家	長島179-17	0164-65-4165	○	○	○	○	○	○	○	50人
32		●	長島生活改善センター前広場	長島40-2	0164-65-3834	○	○	○	○	○	○	○	240人
33	●	●	長島生活改善センター	長島40-2	0164-65-3834	○	○	○	○	○	○	○	80人
34		●	古丹別小学校グラウンド	古丹別430-3	0164-65-4004	○	○	○	○	○	○	○	4,200人
35	●	●	古丹別小学校	古丹別430-3	0164-65-4004	○	○	○	○	○	○	○	260人
36		●	古丹別中学校グラウンド	古丹別237-4	0164-65-4039	—	○	○	○	○	○	○	5,300人
37	●	●	古丹別中学校	古丹別237-4	0164-65-4039	—	○	○	○	○	○	○	320人
38		●	古丹別緑ヶ丘公園	古丹別240-10	0164-64-2211	○	—	○	○	○	○	○	4,400人
39		●	苫前町公民館駐車場	古丹別187-15	0164-65-4076	○	○	○	○	○	○	○	700人
40	●	●	苫前町公民館	古丹別187-15	0164-65-4076	○	○	○	○	○	○	○	430人
41		●	苫前町野球場	古丹別256-2	0164-65-4515	○	○	○	○	○	○	○	4,600人
42		●	九重地区コミュニティセンター前広場	九重1123	0164-65-4335	○	○	○	○	○	○	○	3,200人
43	●	●	九重地区コミュニティセンター	九重1123	0164-65-4335	○	○	○	○	○	○	○	130人
44		●	旧三溪小学校グラウンド	三溪65	0164-65-3766	—	○	○	○	○	○	○	2,400人
45	●	●	三溪へき地保健福祉館	三溪64-1	0164-65-3766	—	○	○	○	○	○	○	90人
46		●	岩見ふれあいホール前広場	岩見104-3	0164-65-3884	○	○	○	○	○	○	○	230人
47	●	●	岩見ふれあいホール	岩見104-3	0164-65-3884	○	○	○	○	○	○	○	50人
48		●	東川町内会館前広場	東川135-15	0164-65-3647	○	○	○	○	○	○	○	610人
49	●	●	東川町内会館	東川135-15	0164-65-3647	○	○	○	○	○	○	○	50人
50		●	小川研修センター前広場	小川177-5	0164-65-4052	○	○	○	○	○	○	○	120人
51	●	●	小川研修センター	小川177-5	0164-65-4052	○	○	○	○	○	○	○	40人

わが家の「防災・緊急情報」メモ



非常時・緊急時に連絡してほしい方や、利用してもらいたいわが家の情報です。
災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関・町に情報を提供します。

わが家の避難場所

	電話番号	
	電話番号	

家族の連絡先

家族の名前	連絡先（勤務先・学校など）	電話番号	携帯電話番号

家族の緊急情報・救急メモ

家族の名前	血液型	持病・アレルギー	持病薬	かかりつけ医療機関

【メモ】 ※書ききれなかった内容や、知ってほしい情報（介護情報・救急隊員への伝言など）をお書きください。

緊急連絡先

役場	苫前町役場	0164-64-2211	消防署	苫前支署	0164-64-2321
	古丹別支所	0164-65-3311		古丹別支署	0164-65-4119
警察署	苫前駐在所	0164-64-2151	病院	苫前クリニック	0164-64-9070
	古丹別駐在所	0164-65-4110		苫前厚生クリニック	0164-65-3535

災害情報はここから

気象情報	旭川地方気象台	http://www.jma-net.go.jp/asahikawa/	PC版
	気象庁	http://www.jma.go.jp/	PC版
河川情報	国土交通省	http://www.river.go.jp/	PC版
	川の防災情報	http://www.river.go.jp/s/	スマホ版
防災情報	北海道防災情報	http://www.bousai-hokkaido.jp/	PC版
		http://i.bousai-hokkaido.jp/	スマホ版
	苫前町	http://www.town.tomamae.lg.jp/	PC版
		http://www.town.tomamae.lg.jp/mobile/	スマホ版